

浅口市立鴨方東小学校 令和5年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和5年10月26日公表

全国学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科 自分の考えを書くことは、全国平均より高い ○算数科 表やグラフを読み取る力がついている ○無回答率が低い <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲目に見えない情報を推論して考える力(国語科:相手の気持ち 算数科:問題にない数字、図形) ▲国語科 関係付けて、課題を解決すること(例:原因と結果、問題点と解決方法、複数の情報を結びつける) ▲算数科 図形領域(平面図形)が、全国平均を上回っているが、正答率は低い ▲基礎的な内容の定着が今少し(漢字、計算) 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢や目標をもっている児童は多い ○ICTを活用した学習に対する肯定的な回答が多い <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲自尊心が低く、自分によいところがあると思っている児童が少ない ▲協働的な学習の良さを実感できていない児童が県や全国の平均と比べて多い

岡山県学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科 ○自分の考えを書くこと ○自分の身の回りや体験を基に身に付けた言葉(例:学習発表会で使った言葉) 算数科 ○折れ線グラフの読み取り【5年】 ○余りのある計算や□を使った問題など【4年】 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科 ▲前学年の配当漢字を読むこと ▲「段落」に対する理解や活用 ▲目に見えない情報を推論して考える力(国語科:相手の気持ち 算数科:問題にない数字、図形) 算数科 ▲図形領域(平面図形、平行)の理解 ▲数の表し方(数の表し方、十進位取り記数法) ▲図と式を関係付けて考える力と、その記述 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢や目標をもっている児童は多い ○ICTを活用した学習に対する肯定的な回答が多い ○学習を振り返る活動を行っていると感じている児童が多い <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲自尊心が低く、自分によいところがあると思っている児童が少ない ▲協働的な学習の良さを実感できていない児童が県や全国の平均と比べて多い

改 善 策

学 校 での 取 組

学びの土台づくり ①朝の活動は全校で静かに読書などをして落ち着いて過ごすことで、学習に向かう気持ちを整える。

②全学年「コグトレ」に取り組んで認知機能の育成を図る。

③行事や活動を通して非認知能力の向上を図る。

学びの定着 ①基礎的な内容と既習事項の定着の時間の確保(モジュールタイム)

②「タブレットドリル」を活用し、学習の個性化を図る。

③学習を振り返る際に「スクールライフノート」を活用し、言語化して記述することにより、学習内容のメタ認知が進むようにし、学習内容の定着と自己肯定感の高揚を目指す。

④各教科の「見方・考え方」を意識した授業づくり(生活と結び付けた学び、文章の構成を意識した指導、「分かった」を引き出す支援)

⑤自由進度学習を効果的に取り入れるなど、学習時間や単元計画のマネジメントを再構築する。

あ い ・ か も が た 学 園 での 取 組

○カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図る。

○「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。

○各校の授業参観や情報交換の機会を設け、園・小・中学校のスムーズな接続を図る。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

・様々な生活体験や自然体験をする機会を設けて非認知能力を高め、学びの土台を築いてください。

・結果よりも、学びの過程をほめることで、自尊心を高めましょう。